

茨城 J R A T 活動報告書

施 設 名	令和 8 年度 茨城県・土浦市 避難力強化訓練
実 施 日 時	令和 8 年 5 月 23 日 9 時 20 分(避難指示発令)～12 時 00 分
実 施 場 所	土浦第四中学校 柔剣道場 (福祉避難所を想定)
想 定 災 害	線状降水帯による大雨で桜川の水位上昇による「避難指示」の発令
訓 練 参 加 者	約 330 名(主催者発表)
活 動 内 容	茨城 JRAT の活動概要、災害支援活動の紹介 集団リハビリ(PT・ST)・福祉用具体験(OT)
茨城 JRAT 参加者	茨城県リハビリテーション医学研究会(大仲功一 丸山剛) 茨城県理学療法士会(浅川育世 藤原祐介) 茨城県作業療法士会(寺門貴 丸山季也 伊藤有輝) 茨城県言語聴覚士会(野沢宏太) 茨城県リハビリテーション病院・施設協会(外山敬一) 敬称略 計 9 名
訓練によって確認された課題とその改善方法等	・イベントの性質上、自分たちの訓練よりも会場への来訪者(避難者、視察者など)への対応の比重が大きくなることはやむを得ないが、次回以降はもう少し自分たちの訓練も意識したい。また、参加メンバーも入れ替えてより多くの茨城JRAT関係者がこのような訓練を経験できるよう配慮したい。 ・同じ会場で活動していた DWAT やその他の活動等について情報共有や連携確認までは至らなかった。次回以降はDWATとのコミュニケーションやコラボレーションも意識したい。 ・デモンストレーションで使用した福祉用具は志村大宮病院併設の介護用品販売店から展示品を借用して対応した(段ボールベッドは主催者側が準備し、車椅子も一部用意されていた)。福祉用具の準備方法については今後の検討課題であるが、展示および体験は参加者の関心が高く、避難所生活の質向上に対する啓発として、次回以降の訓練においても有効だと考えられた。 ・茨城JRAT参加者の旅費等は、原則として派遣元の会員団体に負担していただく形にした。将来的には茨城 JRAT から支出することが理想か。資料作成に要する費用なども同様。



9:00
集合。流れを確認し、各自準備へ。



9:10
NHK 水戸との撮影に関する打ち合わせ。



受付机 災害支援活動、活動概要の準備、リーフレットの準備。



9:25
内閣府茨城県担当者からの質問に対応。



9:45
9:40 に土浦市長が視察。その後まもなく県副知事が来訪(市長同伴)。当初副知事は 10:04 頃に集団リハビリ体操を視察する予定であったが、避難者がいない時間帯での視察となった。



9:55
要支援者(模擬)が支援者(模擬)と共に到着。受付を行い避難所へ入る。車いす利用者や赤ちゃん(人形)をつれた方が避難。



10:02

集団体操実施(血栓予防)。当初は床に座ってもらい体操をする予定であったが、イスを利用して行った。



10:08

自治体(手前:坂東市 奥:石岡市)の担当者からの質問に対応。次年度は石岡市での開催が予定されている。



10:10

福祉用具についての説明。NHKの取材もあり多くの方が説明に耳を傾けた。



段ボールベッドを体験。避難者:「寝るのには硬く、腰が痛くなりそう」



10:25

口腔体操。福祉用具説明会へ参加した方をそのまま誘導。時間とスペースがあれば複数回に分けて実施する方法も有効と思われた。



11:30

県福祉部長寿福祉課を含め反省会、意見交換会を終え、集合写真を撮影し解散。

報 告 書 作 成

茨城県リハビリテーション病院・施設協会 外山 (5月25日)